

ぼっけもん

213 ハブ

ホーホケキョ



奄美の病院

ハブにかまわれました



大丈夫ですか？
きつしばって一刻も早く病院に来てください

わかりました



あ！来た来た



きつしばりました

ギャーギャー



春のおとづれを感じる！
河津桜をパシャリ！

取材の帰り道に県道64号(大崎輝北線)を車で走っていると、ひときわ目立つ桜の木があったので、思わず所有者に許可を得てパシャリ!!

撮影したのは仮宿地区にある『河津桜』です。

河津桜は、ソメイヨシノと違って濃いピンクがとてもきれいな桜です。今年は開花が例年より早かったとのことで、一足早い春を感じる事ができました。

今月の表紙

薩摩郷句 兼題『豆』

豆ん中け金も混ぜ込め込め込め

(唱) 豆が精一杯じゃ 金迄や勿体無

北村虎王

豆ん飯春の香をば運つ来つ

(唱) 旬な最高ち 目鼻も笑つ

満石江吟

亭主が鬼炒つた豆をば投げつけつ

(唱) あいたあいたち 鬼もたまらじ

上窪サエ子

殻付つの豆を拾る拾る鬼な外

(唱) 拾ちや投げ投げ 忙しこつじや

諸木小春

落花生で鬼ぬ追でちよつ直き拾つ

(唱) 落花生拾が 何よつか大事

上村牛歩

大崎短歌会

姉の好きな貝だくさんの味噌汁を供
える神棚に湯気立ちのぼる

坂元つる子

我が部屋は自然の森を朝夕に二方に
ながめ心癒やさる

内田ちどり

娑婆は今インフルエンザの大流行
私は園の箱入娘

宮原のり

おやつだよお話ししましょう犬の花
子 お陽さまぼかばか南の窓辺

児玉チツ

片頭痛に臥すベッドまで運びくる夫
の淹れし濃いゆいのお茶

高瀬睦子

大崎俳句会

紋付鳥主の如く庭巡る

三浦倫子

機上より雪の峰々見下ろせり

桑畑正樹

かがみ餅年ごと小さくなりにけり

町田ヤス

寒九の水胃の腑を透し生気得る

中崎ハナエ

病院食しみ大根の上手なり

内田ちどり

改まる年を見守る実千両

春田昌子

人権啓発シリーズ

~考えてみませんか。人権のこと~

『人権』の『権』にあたる『ライツ (Rights)』をいま日本では『権利』と訳していますが、英語の『ライツ』には『権利』とともに『正しい』という意味があります。ところが、日本語の『権利』という言葉には、『正しい』という意味が含まれておらず、むしろ『利益』という意味合いが強く感じられます。その意味では、『ライツ』に対して『権理』という訳語を当てていた明治初期の方がましでした。『理』の意味には、『道理や道筋』という意味があり、『権理』の方が『ライツ』に近いのではないのでしょうか。『権理』だとそれは『正しいものでなければならない』という感覚になってきますが、『権利』となると、『自分の利益になること』という感覚になるのではないのでしょうか。